

医薬品リスク管理計画
(RMP)

本資材はRMPの一環として位置付けられた資材です

トルツ®で治療を開始される方へ

トルツ®皮下注 80mg オートインジェクター 使い方クイックガイド



Lilly

はじめに

本剤は1回使い切りの注射剤です。
オートインジェクターには1回分の薬液が
あらかじめ充填されています。
1回で全量を使用します。



気を付けるべき症状

注射後に、下記のアレルギーを疑う症状がでた場合には速やかに主治医にご連絡ください。次の受診日を待たずに病院に連絡し、受診するようお願いします。

- 皮膚に今までとは違う発疹(蕁麻疹など)、かゆみが出た。
- 息苦しい(もしくはのどが締め付けられる感じ)、冷や汗が出る、動悸がする。
- 卒倒しそうになる。
- 顔、まぶた、唇、口、舌やのどが腫れた。
- 胸の圧迫感がある。

下記の症状があらわれた場合も、早めに主治医にご連絡ください。

- 発熱、咳、鼻水、のどの痛み、頭痛、悪寒などの風邪のような症状や、息切れ、息苦しさなどが続く。
- 腹痛、下痢、便に粘液や血液が混じる、体重減少、食欲不振、肛門の違和感。

トルツ®皮下注80mgオートインジェクター使い方動画のご案内

トルツ®のご使用にあたって使い方を解説した動画をご用意しました。
下記の二次元コードでご視聴いただけますのでぜひご確認ください。

トルツ®

トルツ皮下注 80mg オートインジェクターの使い方

ALL再生: 8分15秒

二次元コード

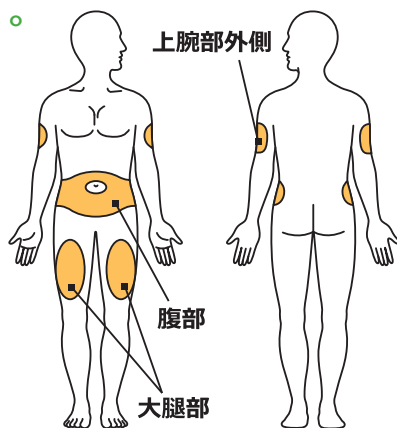


注射の準備

- ① 冷蔵庫から取り出し30分間置いて、室温に戻しておきましょう。
- ② 必要なものをそろえます。
 - 消毒綿1枚(注射前用)
 - カット綿、ガーゼ又は消毒綿1枚(注射完了後用)
 - 専用廃棄用キャップ又は廃棄用の容器1個
- ③ 中に入っている薬液は無色か、わずかに黄色がかっています。次のような場合には、本剤を**使用せず**、医療従事者の指示に従ってください。
 - 使用期限が切れている。
 - 破損している。
 - 薬液が濁っている、明らかな褐色をしている、小さな異物が混入している。
- ④ 注射をする前に手を洗ってください。
- ⑤ 注射部位を決め消毒します。

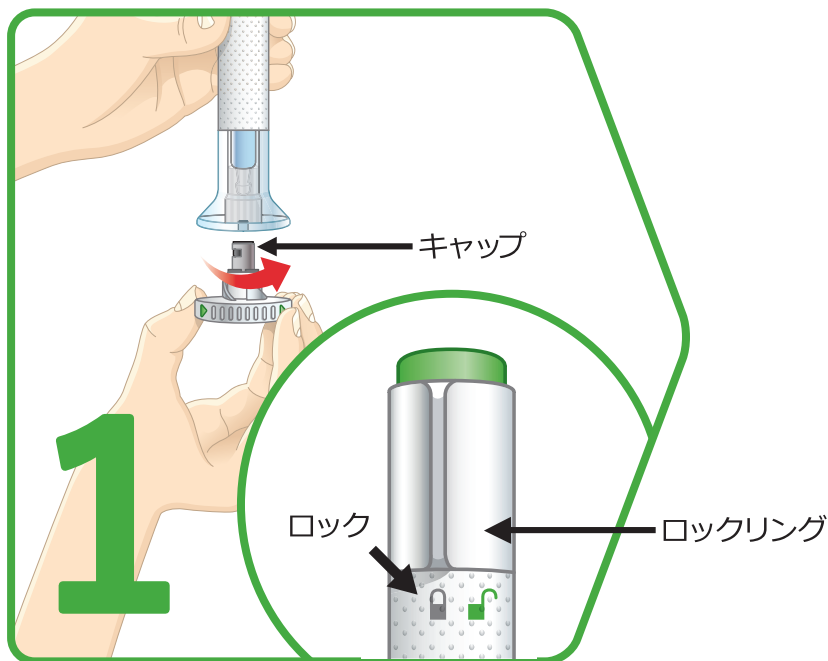
太もも(大腿部)、お腹(腹部)又は二の腕(上腕部)の外側のいずれかを選び、消毒綿で消毒し、乾かします。

※注射部位は主治医の指示に従ってください。



- 二の腕(上腕部)の外側に注射する場合は、操作方法の訓練を受けた方の手助けを受けてください。
- 皮膚に痛み、あざ、赤みがある部位や硬くなっている部位、傷跡や妊娠線がある部位、又は乾癬の部位には注射しないでください。
- ヘその周辺(3cm以内)には注射しないでください。
- からだの同じ部位に注射してもよいですが、注射する場所は前回から変えてください(前回の場所から3cm以上離れていることが目安です)。

簡単3ステップ 1



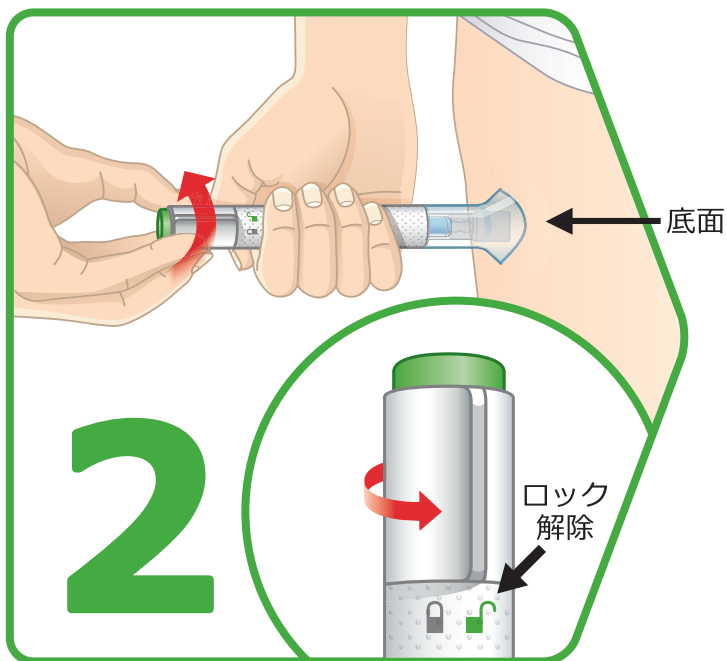
注射する直前までキャップをつけたままにしておいてください。

ロックリングがロックの位置にあることを確認します。

次にキャップを回して外してください。針に触らないでください。

キャップは元に戻さず捨ててください。

簡単3ステップ 2

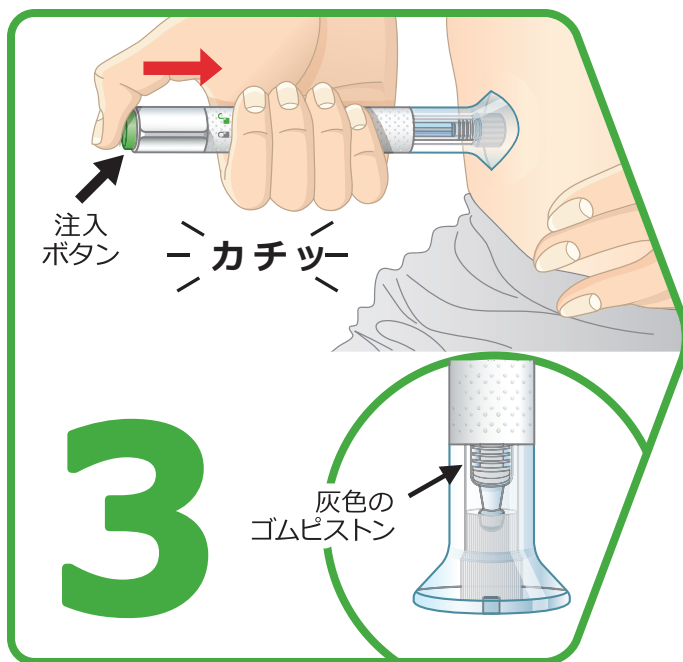


※お腹(腹部)への注射の例

**透明な底面を皮膚に
密着させてしっかりと固定してください。**

透明な底面に密着させたまま、ロックリングをロック解除の方向に止まるまで回してください。

簡単3ステップ 3



注入ボタンを押しきると、カチッという大きな音がします。

次に2回目のカチッという大きな音がするまでそのまま待ちます。

この2回目の音が注射完了の合図です。

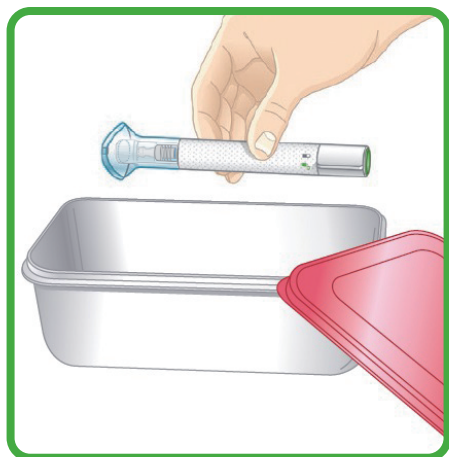
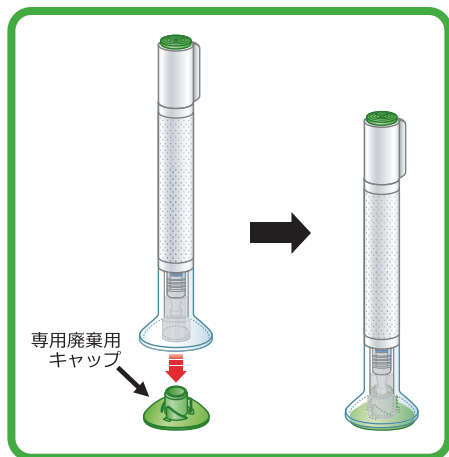
また透明な部分の上部に灰色のゴムピストンが見えていれば、注射は完了しています。

オートインジェクターを皮膚から離し、カット綿、ガーゼ又は消毒綿を注射部位にあててください。

あざになることがありますので

注射部位はもまないでください。

終了後



※図は一例です。専用廃棄用キャップ又は医療機関から提供された廃棄用の容器を使用してください。

使用済みのオートインジェクターは、専用廃棄用キャップをはめこむ、又は専用廃棄用キャップが無い場合は、廃棄用の容器に入れて廃棄してください。

最初に外したキャップは元に戻さないでください。

使用済みのオートインジェクターは、主治医の指示に従って廃棄してください。

保管方法

守っていただくこと



本剤は外箱に入れたまま、冷蔵庫(2~8℃)に保存してください。室温で保存する場合は30℃を超えない場所で保存し、5日以内に使用してください。



本剤を冷蔵庫から取り出し、ご使用になる前に30分間、室温に置いておくことが望ましいです。

してはいけないこと



本剤を凍結させないでください。もし凍結させてしまった場合は、使用しないでください。



本剤を電子レンジで温めたり、お湯をかけたり、直射日光の当たるところに放置しないでください。

本剤を激しく振らないでください。

よくある質問

Q. 薬液の中に気泡があった場合は、どうしたらいいですか？

A. オートインジェクターは、皮下に薬液を注射します。皮下注射では、薬液の中に気泡があっても問題はなく、気泡は人体や投与量には影響ありません。

Q. キャップを外した後、針先から薬液がもれていた場合は、どうしたらいいですか？

A. 針先にしずくがついている程度であれば問題ありません。投与量には影響ありません。

Q. キャップを外さずにロックを解除して、緑色の注入ボタンを押してしまったら、どうしたらいいですか？

A. そのオートインジェクターは使用せず、主治医に連絡してください。針がとびだし、薬液がもれ出すのでキャップを外さないでください。キャップが外れた場合は、けがをすることがあるので針に触らず、ふたのできる穴の開かない容器に入れてください。

Q. 注射後に針が戻らなくなったらどうしたらいいですか？

A. 針に触ったり、キャップを元に戻したりしないでください。ふたのできる、穴の開かない容器にオートインジェクターを入れて、トルツ® [お問合せ窓口]0120-526-382までお問い合わせください。

Q. 注射を打ち忘れてしまった場合は、どうしたらいいですか？

A. すぐに注射してください。その後はあらかじめ定めた日に注射してください。大幅に投与日が過ぎてしまった場合は、主治医の指示に従ってください。

本剤についてご質問がある場合は：

- 主治医にご相談ください。
- [お問合せ窓口]までお問い合わせください。

トルツ® [お問合せ窓口]

フリーダイヤル いつでも そばに

0120-526-382

通話料は無料です。携帯電話からもご利用いただけます。

日本イーライリリー株式会社

PP-IX-JP-5408 2023年9月作成